

ドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会 マラソン日本代表選手選考要項

1. 編成方針

世界に通用するマラソン選手育成のため、ポスト東京オリンピックも視野に入れつつ、本大会での入賞を目指す競技者で選手団を編成する。

2. 選考競技会

(1) 男子

- 1) 第72回福岡国際マラソン選手権大会 (2018/福岡)
- 2) 東京マラソン 2019 (2019/東京)
- 3) 第74回びわ湖毎日マラソン (2019/大津)
- 4) 2018北海道マラソン (2018/北海道)
- 5) 第68回別府大分毎日マラソン (2019/別府)

(2) 女子

- 1) 第4回さいたま国際マラソン (2018/さいたま)
- 2) 第38回大阪国際女子マラソン (2019/大阪)
- 3) 名古屋ウィメンズマラソン 2019 (2019/名古屋)
- 4) 2018北海道マラソン (2018/北海道)

3. 選考基準

編成方針に基づき、選考競技会出場者の中から、男女最大で3名を下記の優先順位で選考する。ただし、2019年9月のファイナルエントリー時点で、国際陸上競技連盟（以下「IAAF」という。）が定める本大会の参加資格を充たしていることを条件とする。

- (1) 選考競技会において、その競技会のみ成績によりマラソングランドチャンピオンシップ（以下「MGC」という。）の出場資格を獲得した競技者及び選考競技会参加前に、MGCの出場資格を獲得している競技者のうち、選考競技会においてその競技会のみ成績によりMGC出場資格を獲得できる成績を収めた競技者の中で、各選考競技会における記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、本大会で活躍が期待される競技者。
- (2) 選考競技会において日本人3位以内の競技者の中で、各選考競技会における記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、本大会で活躍が期待される競技者。（最大2名）
- (3) 2019年5月31日現在でIAAFが発表しているマラソン種目のワールドランキング（テストサイト含む）日本人上位者の中で、本大会で活躍が期待される競技者。

4. 選考方法

全ての選考競技会終了後に、選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。選考基準(3)での選考が生じる場合は、2019年6月に強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会にて決定することがある。

5. その他

- (1) 本大会の参加資格に係る参加標準記録（男子：2時間16分00秒/女子：2時間37分00秒）有効期間は、2018年3月7日から2019年9月16日まで。
- (2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (3) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規準に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、**男女各1名**の補欠を選考し、ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
- (6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (7) 本大会は、2019年9月27日～10月6日までドーハ（カタール）で開催される。

以上